

一関市長定例記者会見

日時：令和5年1月31日（火）

午後2時20分から午後2時50分まで

場所：本庁3階 特別会議室

○市長発表事項

「(仮称) I L C実現建設地域期成同盟会」設立総会を開催します

○その他

「（仮称）I L C実現建設地域期成同盟会」設立総会を開催します

I L C実現を待望し、さまざまな活動を重ねてきたI L C建設候補地の自治体および関係団体が一丸となり、I L Cの建設実現に向けてさらに強力な要望活動を進めるため下記のとおり「（仮称）I L C実現建設地域期成同盟会」設立総会を開催します。

記

- 1 日時 2月8日（水）午後1時30分～3時
- 2 場所 一関文化センター 大ホール（大手町2-16）
- 3 次第
 - (1) 開会
 - (2) 発起人代表挨拶
 - (3) 議事
 - ① 議案第1号 規約の制定について
 - ② 議案第2号 役員の選出について
 - ③ 議案第3号 事業計画について
 - (4) 祝辞・挨拶
 - (5) 講演（講師：高エネルギー加速器研究機構 機構長 山内 正則 氏）
 - (6) 決意表明
 - (7) 閉会
- 4 設立発起人代表
一関市長、奥州市長、気仙沼市長、一関市・平泉町I L C誘致推進協議会長
登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会代表理事
- 5 組織案（計213人）
 - (1) 構 成 員：東北I L C事業推進センター構成市町の首長・議長・I L C議連会長
圏域のI L C推進団体の長
岩手県、宮城県、仙台市議会のI L C議連議員
 - (2) 常任顧問：岩手県知事、宮城県知事
 - (3) 顧 問：岩手県・宮城県選出国會議員
岩手県議会議長、宮城県議会議長

問い合わせ先 一関市役所
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
市長公室I L C推進課 課長 及川和美
電話：(0191)21-8315 FAX：(0191)21-2164
メールアドレス：ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

「(仮称) I L C 実現建設地域期成同盟会」設立趣意書 (案)

国際リニアコライダー (I L C) は、世界中の研究者・技術者が結集するアジア初の国際出資・運営による大型国際科学技術研究拠点です。

その実現による波及効果は、学術の進展のみならず、我が国が標榜する科学技術立国と科学技術外交の推進、高度な技術力に基づくものづくりの競争力強化、さらには、人づくり革命等を促し、我が国の成長戦略に大きく貢献し、日本全国、世界に及ぶものです。また、世界中の国や地域、言語、宗教などの隔てなく多様な人々が集う I L C は、世界中の研究者が人類共通の課題に挑戦し、科学を通じた国際貢献、平和構築の場として役割を果たす、将来世代に夢と希望を与える国際プロジェクトです。

世界の素粒子物理学研究者コミュニティは、2004 年から国際チームによる I L C 技術開発を進め、2013 年には北上山地を世界唯一の建設候補地に選定しました。

2019 年には日本政府が「I L C 計画への関心」を表明し、米欧との政府間の議論が開始され、米政府においては、省庁横断で日本での I L C 建設を支持しています。

I L C の日本建設による効果は、イノベーションや国際人材育成、地方創生、震災復興など多分野にわたることから、これまでの学術プロジェクトとしての検討を超え、国家プロジェクトとして、国際的な議論を進めることが必要不可欠です。

I L C 建設候補地は、東日本大震災による人口減少が加速する中、基盤産業の不振、復興需要の落ち込みに加え、コロナ禍も重なり、多くの課題が山積しています。

未来に希望を持って地域を振興し、子供たちにバトンを引き継いでいくためには I L C の実現が欠かすことができません。我々は I L C 建設を契機として国際的なイノベーション拠点の形成や世界に開かれた地方創生を実現し、我が国の経済成長と科学技術発展の一翼を担い、東日本大震災からの創造的復興を成し遂げる決意であります。

I L C 実現を待望し様々な活動を重ねてきた I L C 建設候補地の自治体及び関係団体が一丸となり、I L C の建設実現に向けてさらに強力な要望活動を進めるため、「I L C 実現建設地域期成同盟会」を設立したいと存じますので、ご賛同を賜るようお願い申し上げます。

令和 5 年 2 月 日

設立発起人代表	一 関 市 長	佐藤 善仁
〃	奥 州 市 長	倉成 淳
〃	気 仙 沼 市 長	菅原 茂
〃	一関市・平泉町 I L C 誘致推進協議会 会 長	小岩 邦弘
〃	登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会 代表理事	猪股 研
設立発起人	大 船 渡 市 長	淵上 清
〃	陸 前 高 田 市 長	戸羽 太
〃	金 ヶ 崎 町 長	高橋 寛寿
〃	平 泉 町 長	青木 幸保
〃	住 田 町 長	神田 謙一
〃	登 米 市 長	熊谷 盛廣
〃	栗 原 市 長	佐藤 智
〃	大 崎 市 長	伊藤 康志

「(仮称) I L C 実現建設地域期成同盟会」規約 (案)

(名称)

第1条 本会は、I L C 実現建設地域期成同盟会と称する。

(目的)

第2条 本会は、国際リニアコライダー (以下「I L C」という。) の東北への建設実現を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) I L C の東北への建設実現に向けた機運の醸成に関すること。
- (2) 関係機関に対する要望に関すること。
- (3) その他目的の達成に必要な事項

(構成員)

第4条 本会は、趣旨に賛同する別表に掲げる者 (以下「構成員」という。) をもって構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 代表 3人以内
- (2) 副代表 2人以内
- (3) 幹事 若干名

(役員を選任及び任期)

第6条 代表及び副代表は、構成員の互選とする。

2 幹事は、代表が指名する。

3 役員は、任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後であっても、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。

(職務)

第7条 代表は、会務を総理し、会議の議長となる。

2 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるとき、または代表が欠けたときは、その職務を代行する。

3 幹事は、代表及び副代表とともに、本会の運営にあたる。

(常任顧問・顧問・参与)

第8条 本会に常任顧問、顧問及び参与を置くことができる。

2 常任顧問、顧問及び参与は、代表が委嘱する。

3 常任顧問は、本会の運営に関し助言を行い、その活動を支援する。

4 顧問及び参与は、代表の求めに応じ、本会の運営に関し助言等を行う。

5 常任顧問、顧問及び参与の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会議)

第9条 本会の会議は、代表が招集し、出席者をもって成立する。

2 代表は、役員会を開催することができる。

(経費)

第10条 本会の運営経費については、その都度協議するものとする。

(事務局)

第11条 事務局は、構成員の市町の職員の中から代表が任命する。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、代表が別に定める。

附 則

この規約は、令和5年2月 日から施行する。

別表（第4条関係）

市・町	盛岡市長
	大船渡市長
	花巻市長
	北上市長
	遠野市長
	一関市長
	陸前高田市長
	奥州市長
	西和賀町長
	金ヶ崎町長
	平泉町長
	住田町長
	仙台市長
	気仙沼市長
	登米市長
	栗原市長
大崎市長	
市・町議会	盛岡市議会議長
	大船渡市議会議長
	花巻市議会議長
	北上市議会議長
	遠野市議会議長
	一関市議会議長
	陸前高田市議会議長
	奥州市議会議長
	西和賀町議会議長
	金ヶ崎町議会議長
	平泉町議会議長
	住田町議会議長
	仙台市議会議長
	気仙沼市議会議長
	登米市議会議長
	栗原市議会議長
	大崎市議会議長
	大船渡市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟会長
	気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟会長
	奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟会長
	議員連盟 (県・政令市)
宮城県議会 国際リニアコライダー誘致議員連盟議員	
仙台市議会 国際リニアコライダー建設実現議員連盟議員	
推進団体	大船渡市 I L C 推進協議会長
	気仙地区商工団体連絡会長
	北上市加速器関連産業参入推進協議会長
	一関市・平泉町 I L C 誘致推進協議会長
	陸前高田市 I L C (国際リニアコライダー) 誘致促進協議会長
	奥州市 I L C 推進連絡協議会長
	気仙沼市国際リニアコライダー推進協議会長
	登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会代表理事
	栗原市 I L C 誘致推進協議会長

事業計画（案）

国際リニアコライダー（I L C）の日本への建設実現による波及効果は、学術の進展のみならず、我が国が標榜する科学技術立国と科学技術外交の推進、高度な技術力に基づくものづくりの競争力強化、さらには、人づくり革命等を促し、我が国の成長戦略に大きく貢献し、日本全国、世界に及ぶものである。

また、世界中の国や地域、言語、宗教などの隔てなく多様な人々が集う I L C は、世界中の研究者が人類共通の課題に挑戦し、科学を通じた国際貢献、平和構築の場として役割を果たす、将来世代に夢と希望を与える国際プロジェクトである。

特に、建設候補地である東北では、I L C 建設を契機として、国際的なイノベーション拠点の形成や世界に開かれた地方創生を実現し、東日本大震災からの創造的復興を成し遂げる決意のもと、I L C 建設候補地の自治体及び関係団体が一丸となり、東北への I L C 建設の実現に向け積極的な活動を展開する。

- 1 東北への I L C 建設の早期実現に向け、関係機関に要望活動を行う。
- 2 東北への I L C 建設実現に向けた機運の醸成を図る。